



グループ通信

発行／ふれディアグループ本部 編集部
〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4
朝霞台駅前ビル8F

全国相談窓口 ☎ 0120-116-017

こんにちは、ふれディア通信編集部です。 いよいよ9月となりました。 今年は7月に入る前から真夏日が続き、梅雨らしい時期は短く、暑い夏が長く続きました。 いい加減、早く涼しくなって欲しいです！ さて、今月からゴッホの大規模な巡回展が、日本で開催されるのをご存じでしょうか？ この「大ゴッホ展」は、神戸を皮切りに、福島（来年2月～）、東京（来年5月～）の3カ所を、2期に分けて巡回します。 阪神・淡路大震災から30年となる神戸、東日本大震災から15年となる福島で、節目の年に取り組み事業として企画されたものだと思います。 今月から始まる第1期ではオランダ時代からの画業前半が紹介され、中でも南フランスの都市アルルの広場にあるカフェテラスを描いた《夜のカフェテラス》が約20年ぶりに日本で公開されるとあって話題を呼んでいます。 《夜のカフェテラス》は、夜空の青とカフェの黄色い明かりがとても印象的な作品。 フランスで印象派の作品に影響されたことで、ゴッホの画風やタッチが軽やかに色鮮やかになっていったと言われています。 有名なゴッホの作品《ひまわり》もこの頃に描かれたもので、黄色がとても鮮やかで心に残るものになっています。 また、ゴッホといえば自画像を思い浮かべる方も多いと思いますが、このアルル時代に描かれた自画像も来日するそう。 2027年から予定されている第2期では、《夜のカフェテラス》と並ぶゴッホの最高傑作《アルルの跳ね橋》が展示され、アルル時代から晩年までの画業後半が紹介される予定です。 この作品はオランダの国宝であり、貸し出されることは非常に稀だとか。 日本公開は約70年ぶりになるそうですので、人生に一度しか見られないかもしれない貴重な機会！ ゴッホは浮世絵からも大きく影響を受けたともいわれ、日本人に馴染みのある色彩や構図も見どころです。 しかし、ゴッホの作品の最大の魅力は、絵画の知識がなくとも見る人に感覚的に伝わる迫力や感情表現だとも言われています。 難しく考えずに、鑑賞できるのも良い点だと思います。 よく知られているようにゴッホは困難に満ちた人生を送りましたが、絵に向き合い、創作をあきらめませんでした。 そんなゴッホの作品が、私たちに元気と勇気を届けてくれることだろうと思います。



脳がイキイキ！健康クロスワード

救急箱に備えておきたいアイテムの一つと言えば？ A～Fをつなげた言葉が答えです。

タテのカギ

2. 料理の「さしすせそ」。「そ」は何のこと？ 
3. 唐揚げや天ぷらがまとっているのは？ 
5. 運動会はハチマキ派？それとも〇〇〇派？ 敵と味方が一目瞭然。
6. 育ちの良さも悪さも出てしまう!? 〇〇〇づかい。
8. 〇〇〇中止／〇〇〇延期 〇〇〇順延。 共通する空模様は？ 
10. B面と言えば、レコードのどこにある？ 

ヨコのカギ

1. ロシアの文豪ドストエフスキーの代表作「〇〇と罰」。
3. 「こまち」と言えば新幹線。では、「あきたこまち」と言えば？
4. 鶏や牛のひき肉で作られ、ご飯の上に乗せる甘辛いふりかけ風料理と言えば？ 
7. 寒くなると恋しくなる〇〇〇布団。
9. 株式、債券、不動産…、FXも有名です。 
11. 花言葉は美・愛情、花の女王と呼ばれる花と言えば？
12. 時候のあいさつでもおなじみ。〇〇高く馬肥ゆる秋。

1	2		3	E
	4	C	5	
6			7	F
9	10	D		
11	A		12	B

解答は別ページに載っています。